



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 兼松日産農林株式会社
 コード番号 7961 URL <http://www.knn.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高崎 實
 (氏名) 田中 昭浩

TEL 03-3265-8231

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,433	△4.9	104	—	103	—	98	—
23年3月期第1四半期	2,559	10.6	0	—	△2	—	△32	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 73百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.38	—
23年3月期第1四半期	△0.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,475	3,096	41.4
23年3月期	6,800	3,022	44.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,096百万円 23年3月期 3,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	△4.0	50	65.2	40	47.7	30	—	0.72
通期	10,000	△1.3	110	25.0	100	22.6	80	—	1.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	41,492,000 株	23年3月期	41,492,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	30,355 株	23年3月期	30,355 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	41,461,645 株	23年3月期1Q	41,462,623 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信〔添付資料〕P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による消費の低下や東日本を中心とした企業活動の停滞により、弱い動きとなりました。

当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界につきましては、新設住宅着工戸数は住宅エコポイント制度の7月末の対象期間終了を控え、前年比若干増加しておりますが、震災の影響もあり低水準で推移する厳しい環境が続いております。

このような環境のもとで当社グループは、復旧した設備の稼働率を上げるとともに被災地域の復興事業にも積極的に注力いたしました。この結果、売上高は24億3千3百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は1億4百万円（前年同期は営業利益0百万円）、経常利益は1億3百万円（前年同期は経常損失2百万円）、四半期純利益は9千8百万円（前年同期は四半期純損失3千2百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

ジオテック（地盤改良）事業

震災後の住宅資材の供給不足から大手ハウスメーカーの住宅着工が落ち込む中、震災により東北、関東で多数発生した住宅の不同沈下被害を含む地盤のトラブル相談に対し、各ハウスメーカーと共同で被害状況調査や復旧対応など復興に向けた業務に注力いたしました。また、震災地域において緊急性を要する仮設住宅建設の木杭工事を多数の住宅メーカーより受注し施工いたしました。売上高は10億4千2百万円（前年同期比7.7%増）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失2千6百万円）となりました。

木材加工事業

震災後、一時的に住宅資材の供給不足等により住宅着工は滞りましたが、住宅エコポイント制度の対象期間が7月までと変更されたことから着工数が増加に転じました。これにより保存処理木材加工、処理薬剤販売は堅調に推移いたしました。住宅部材のプレカットでは東北地区の被災による住宅着工の減少の影響から売上高が減少いたしました。受注が減少傾向にあった金物工法加工用設備の一部を売却処分し、また、震災で被災したたな卸資産を有効利用することによるコストの低減を図りました。売上高は9億6千9百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益は9千3百万円（前年同期比382.7%増）となりました。

セキュリティ機器事業

映像監視セキュリティ機器の販売は、例年、第1四半期は期末の需要時期の反動から売上高が低迷する傾向にありますが、当第1四半期は新規客先開拓などにより比較的堅調に売上が伸びたこと及び東日本大震災の影響から先送りとなっていた案件の一部が、当第1四半期の売上となったことなどから、売上高は1億5千万円（前年同期比33.4%増）、営業利益は1千6百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

石油製品事業

省エネルギー志向、ハイブリッドカーの浸透や、震災による経済活動の鈍化とイベント、行楽などの自粛ムードの高まりから、燃料油、油外商品販売ともに伸び悩みました。売上高は1億7千6百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は3百万円（前年同期比42.8%減）となりました。

その他事業

個人消費が低迷する中、マッチ、雑貨等の販売は低調に推移しました。また、エクステリア製品の取扱いを中止したこともあり、売上高は9千3百万円（前年同期比43.6%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末の総資産は74億7千5百万円であり、前連結会計年度末と比較して6億7千4百万円増加いたしました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により7億2千6百万円増加いたしました。固定資産は、投資有価証券の減少等により5千1百万円減少いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金金の増加等により4億3千3百万円増加し、固定負債は長期借入金金の増加等により1億6千7百万円増加いたしました。

純資産はその他有価証券評価差額金が減少しましたが、四半期純利益9千8百万円の計上等により前連結会計年度末から7千3百万円増加し、30億9千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災で寸断されたサプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が回復していくのに伴い、海外経済の緩やかな回復や各種政策効果を背景に景気が持ち直ることが期待されます。しかしながら、電力供給の制約や原発事故、円高の影響及び海外経済の動向等による景気下振れリスクが存在し、デフレ、雇用情

勢の悪化懸念からも、住宅関連業界は引き続き厳しい状況が予想されます。当社グループは引き続き営業力強化、独自技術・工法の拡販に努めてまいりますが、平成23年5月6日発表の連結業績予想に第2四半期累計期間、通期ともに変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	321	764
受取手形及び売掛金	1,811	1,940
商品及び製品	630	654
仕掛品	4	4
原材料	442	534
その他	77	116
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	3,275	4,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	296	291
機械装置及び運搬具（純額）	221	211
土地	2,274	2,274
リース資産（純額）	23	30
その他（純額）	15	14
有形固定資産合計	2,832	2,822
無形固定資産		
投資その他の資産	12	18
投資有価証券	564	523
その他	165	163
貸倒引当金	△49	△54
投資その他の資産合計	680	632
固定資産合計	3,525	3,473
資産合計	6,800	7,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,494	1,654
短期借入金	1,739	2,012
リース債務	12	15
未払法人税等	34	9
賞与引当金	50	54
その他	135	154
流動負債合計	3,467	3,900
固定負債		
長期借入金	—	177
リース債務	29	38
繰延税金負債	26	9
退職給付引当金	237	235
資産除去債務	17	17
固定負債合計	310	477
負債合計	3,777	4,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	△1,481	△1,382
自己株式	△4	△4
株主資本合計	2,986	3,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	11
繰延ヘッジ損益	—	△0
その他の包括利益累計額合計	36	11
純資産合計	3,022	3,096
負債純資産合計	6,800	7,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,559	2,433
売上原価	2,157	1,924
売上総利益	402	508
販売費及び一般管理費	402	403
営業利益	0	104
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	1	1
受取賃貸料	4	4
その他	1	1
営業外収益合計	7	7
営業外費用		
支払利息	8	9
その他	1	0
営業外費用合計	10	9
経常利益又は経常損失(△)	△2	103
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産売却損	—	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
特別損失合計	21	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23	104
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	1	△0
法人税等合計	8	6
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32	98
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32	98

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△32	98
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△24
繰延ヘッジ損益	△1	△0
その他の包括利益合計	△3	△24
四半期包括利益	△35	73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35	73
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	968	1,137	113	174	2,393	166	2,559	—	2,559
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	19	—	7	26	—	26	△26	—
計	968	1,156	113	181	2,419	166	2,586	△26	2,559
セグメント利益 又は損失 (△)	△26	19	0	5	△1	△2	△4	4	0

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売及びエクステリア製品の施工・販売事業等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去4百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ジオテック	木材加工	セキュリティ 機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,042	969	150	176	2,339	93	2,433	—	2,433
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	57	—	9	67	0	67	△67	—
計	1,042	1,027	150	186	2,406	93	2,500	△67	2,433
セグメント利益 又は損失 (△)	△2	93	16	3	110	△6	103	0	104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売及び雑貨の販売事業等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。